

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2510

No. 2 **8**
2005.



SERVICE Above Self

2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

塚原 房樹 FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

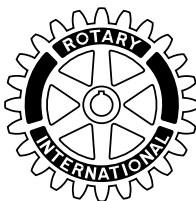
北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



超我の奉仕

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	01
会員増強と退会防止	04
ロータリー国際大会に参加して	05
地区委員会活動計画	06
新ロータリークラブ結成のお知らせ	13
ロータリーの友委員会報告	14
地区ローターアクト委員会報告	14
地区大会のご案内	14
新入会員のご紹介	15
文庫通信	15
ガバナー事務所からお願い	16
地区カレンダー (8月・9月)	17



2005 - 2006年度
国際ロータリー第2510地区
ガバナー 塚原 房 樹

ロータリー! より拡く、より強く

雲の峰に夏の訪れを知ります。会長・幹事さん、いかがお過ごしでしょうか。私もシカゴの国際大会より帰国後、間もなく公式訪問が始まり忙しい日々を送っておりますが、息災に過ごしておりますのでご安心ください。ご承知のように8月は会員増強および拡大月間です。RIの任務の第一はロータリーの拡大です。なぜなら全世界にわたってロータリーの理想を推進するためには、会員数が増えクラブの数が増えればそれだけ奉仕の輪が広がるからです。したがってロータリーの拡大・増強は国際ロータリーの永遠のテーマです。以前は増強を議論する時必ず量か質かの問題が提起されましたが、最近では職業人としての質はお構いなし、人の顔さえ見れば入れ入れとロータリアンは保険の外交員宜しく、会員増強がノルマとなりました。ロータリークラブは数を頼む集団となりロータリーの心は失われてしまいました。その結果、「悪貨は良貨を駆逐する」の例えの通りロータリーは魅力を失い大事なクラブの宝であるベテラン会員の退会が相次ぎました。何故RIはなりふりかまわず会員増強に憂き身をやつたのでしょうか。歴史的背景を探ってみましょう。ロータリーの看板と言われ、ロータリーを今日の隆盛に導いた職業奉仕はポール没後、ロータリー運動の主流から外れました。すなわち1947年、ポール・ハリスが亡くなった年にRIの職業奉仕委員会は廃止されました。そして第二次世界大戦を契機に世界平和の考え方が導入されます。また1960年頃からWCSが中心になり、国際ボランティアの道をRIは選択しました。3H、ポリオプラスと進展し名実共にロータリーは職業奉仕を捨てて、国際ボランティア団体となりました。

さらにロータリー財団の創立が国際ボランティア運動推進に拍車をかけました。1917年アーチ・クラフが財団を設立しました。最初は寄付が集まらず開店休業の状態でしたが、ポールの死を悼んで財団奨学生のためのポール・ハリス・フェローが盛んになりました。莫大な寄付金が集まりました。もともと教育を通して国際理解を深め、その結果として世界平和を図ろうという目的で出来ましたが、財団本部が国際ボランティア事業を拡大して自ら事業主となりました。財団はもともとRIの一機構に過ぎなかったのですが、財団がRIの主役となりました。今や財団無くしてロータリー無し。そしてRIは財団の集金係りとなりました。財団がボランティア活動に専念する為には、大量の資金が要ります。会員増強が至上命令となり、なりふり構わぬ会員増強と財団寄付が叫ばれます。私はRIが国際ボランティア活動に参加する事を否定するものではありません。ロータリーは世界的な組織であります。だからロータリー財団は世界的なマクロな視点に立つのは当然です。会員増強と財団寄付を最重点目標として、飢餓追放、貧困対策、災害救助、疾病予防、識字率の向上など国連や赤十字、ユニセフのお手伝いをする人道的国際奉仕の道を進むのは当然の成り行きであります。世界は一つ、世界平和の為に弱者を救済する事はロータリアンの義務であり、我々も協力は惜しむものではありません。

しかし奉仕の心を学ぶ場であるロータリーが、このようにしてボランティアという刹那的な金銭奉仕にのみ心が奪われると、ロータリー運動の原点である親睦の理解が上辺だけのものにならざるを得ず、ロータリー運動の虚飾性は一段と強いものになってきます。そして、その上、ボランティア活動そのものは奉仕の適切なテーマであるにしても、その寄付活動に参加する前後の「心の空洞化」は回避する事は出来ず、ロータリー運動の実情は単なる偽善的かつ断片的なお付き合いの奉仕活動となってしまっているのです。日本ロータリーの始祖、米山さんが例会出席を通じて、各ロータリア

ンとの親睦の内にロータリーの心を会得し、その心をもって千差万別な実践活動を行ったのは大変異なるのであります。最近のロータリーは奉仕の心の裏付けの無い断片的行動ないし、団体的事業計画の奉仕ばかりで、二重人格的世界の中の仮住まいという情けない状態になってしまいました。

長々とポール・ハリス没後のロータリーの流れについてのべました。しかしロータリー100周年を機にその潮流が少し変化しました。その一環として国際協議会で職業奉仕の再構築が取り上げられました。職業奉仕はロータリアンにも地域の人たちへもベネフィットを与えてきました。その職業奉仕をないがしろにしてロータリーは魅力を失い、求心力を失いました。会員の退会増加がそのことを明確に示しています。長い間国際ロータリーでは職業奉仕という言葉は「死語」となっていました。しかし昨年2月の国際協議会で今まで誰もRIの公式講演の場で発言できなかった職業奉仕の再構築について元RI会長ビチャイ・ラタクル氏は爆弾的・革命的発言をされました。ラタクル氏の講演を引用します。「ロータリーは貧困、飢餓、疾病に苦しむ何十億人もの人を救い、豊かにしてきました。ロータリーが人道的経済的プログラムで嵐を切り抜けどれほど貢献してきたか、それは誇るに足ることです。しかしそれは立派なことであっても所詮外面的な行いを見ているに過ぎません。ポリオとの戦いには勝つでしょう。あらゆる病気、教育、貧困になお手を差し伸べなければなりません。この世に善を成すためには、自らの力の限界を知らなければなりません。しかし力の源となる奉仕の哲学が事々に裏切られたのが今の世代なのです。私が申し上げたいのはロータリーの内面の問題です。ロータリーに課せられたもっとも重大な挑戦課題でありながらこのところずっと無視されてきた問題です。いく年もいく年も話題にもされず討議もされなかった挑戦課題 それはロータリーの金看板職業奉仕です。今もこれからも職業倫理の提唱と自愛の心をロータリアン以外の人々に分かち与えていかねばならないのです。残念ながら私たちの多くがこの最も重要なロータリー哲学の真髄を忘れてしまいました。なんと恥ずかしいことではありませんか」

ロータリー101年目、我々に課せられた最大の使命はかつてロータリーを隆盛に導いた職業奉仕の再構築です。増強・拡大はロータリーの永遠の課題です。しかしその前に魅力あるクラブを作ることが大前提です。ラタクル元RI会長の言葉どおり職業奉仕はロータリーの魅力の源泉でした。(これについては10月の職業奉仕月間で触れます)

各クラブ会員純増1名はステンハマー会長の要望です。新たなロータリーの世紀を踏み出す仲間を1名増やしてください。また増強は単にRI会長の要望だからするのではなく、クラブの存続にも新しい血の導入が欠かせません。ただし会員の選考はクラブ細則の通り厳格に行ってください。2、3の不良会員を入れるとクラブ全体が駄目になってしまう。「りんご箱の中のりんごが1個でも腐ると皆腐ってしまう」という言葉があります。今年のアナハイムでもヨーロッパは会員選考を厳しくしたので会員数が増えてきたという報告がありました。会員選考は世界的に量から質への回帰が再び問われる時代となりました。難しいことですが、ロータリーに相応しい新会員を探してください

いささか駄弁を弄してしまいました。向暑のみぎり会長・幹事の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

参考文献 佐藤千寿氏(不易流行) 小堀憲助氏(ロータリー運動)

ガバナー公式訪問ではありがとうございました



小樽南RC公式訪問（7月1日）



栗山RC公式訪問（7月5日）



江別RC公式訪問（7月7日）



赤平RC公式訪問（7月12日）



岩見沢東RC公式訪問（7月12日）



会員増強と退会防止

地区会員増強委員会

委員長 遠藤 秀雄 (登別RC)

ロータリーにとって永遠のテーマである。歴代のRI会長の強調事項の一番目に、この問題があげられている。国際ロータリーの会員数150万人が悲願となっているのである。各クラブにおいても新入会員を迎え入れないと新陳代謝がはかれず、特に会員数の少ないクラブでは運営そのものに支障をきたし、活性化を失ってしまう。

国際ロータリーの中で日本はここ十年來最も会員減の著しい国であるが、2510地区とて例外ではない。大多数のクラブが新入会員獲得に四苦八苦しているのが現実である。

6月14日2005-06年度第1・2ゾーン地区会員増強合同セミナーが東京で開かれた。2004年7月～2005年4月報告調査一覧が示されたが、第1～3ゾーンで481名の増となっているが、その内女性増が269名をしめている。この10ヶ月で会員減は28地区中9地区であり、女性会員減は2510地区だけであった。2750地区のように女性会員を79名も増やしている地区もあるのには驚いた。どの地区も会員増強には真剣に取り組んでいる様子がうかがわれる。

意見交換の場では、定年退職者に入会してもらい積極的に奉仕活動に参加してもらっている例や、女性会員によるキャラバン隊を編成して女性会員のいないクラブを訪問し、女性会員の良さを卓話したり、企業の集まりで知り合った適格者を各クラブに紹介者リストを作って紹介する等のアイデアも出された。総論としては職業倫理による会員の質の向上、広報の重要性、クラブの魅力の構築であろう。

新入会員の獲得が難しくなっていくなかで、もう一つの問題は退会防止であろう。2510地区でも退会者リストがすべて地区事務所に届いていないが、提出された分では、この一年間で入会3年未満の退会者が43名あった。もしこの人達に我々会員が親睦と奉仕の実践を通してロータリーの魅力を伝えることが出来ていたら、何割かは防止できたのかも知れない。卓話もクラブ例会の魅力の一つであろう。卓話者リストの交換や、地区委員会の活用も是非願いたい。

わが地区でも暗いニュースばかりではない。函館市が中核都市となったのを機に新クラブ結成の気運が芽生え、前年度内には間に合わなかったが近々承認を待つばかりである。ロータリーの活性化につながることを願っている。



ロータリー国際大会に参加して

国際ロータリー2510地区
2004-05年度100周年記念委員会
委員長 **岩城秀晴** (札幌南RC)

「ロータリーを祝おう」をテーマにアメリカのシカゴにおいて開催された国際大会は、従来とは違った大きな大きな大会でありました。

私は、この大会に臨むにあたり、昨年のお阪大会の終了と同時にこの大会に参加することに胸の高鳴りを覚え、かつ、希望と未来に向って目を輝かし、心が弾んだことであります。

何故か。この大会は、RIが設立されて100周年目であることと同時に、創始者でありますポール・ハリスの成育された地において開催されるからであります。

本年6月18日(土)に札幌を発ち、新千歳から羽田へ、羽田からシカゴへと飛行時間12時間有るの旅立ちを致しました。到着致したのは、同日の15時で、税関の検閲を通過して、ホテルに着いたのが18時30分であり、19時からの北海道ナイトに漸く手を伸ばして出席したという状況でありました。お蔭様で、北海道ナイトには、2500地区の方々とは2510地区との方と併せて、107名が参集して戴きました。そして、内容は酒井正人100周年記念委員の司会により、遠藤ガバナート、オン・ツ・シカゴ委員長の挨拶により、海外での同胞同志が胸襟を開いて懇親会を致して、お互いにこれからのロータリーの夢を語り合いました。最後に2510地区100周年記念委員長のお礼の詞を述べて散会致しました。参加者の皆様、お疲れ様でした。

翌日19日(日)は、日本人朝食会が日本人理事主催により開催されたので、参加致しました。主催する方としては、500名を予定したのですが、実際には700名有るとなりまして、大変な盛会でありまして、大会第1日目の事でもあり、気持ちの上か、大いに盛り上がった会でありました。

さて、開会式であります、1日を3回に分けて開催されまして、日本の我々は、16時30分からの開会でした。その会場の規模は札幌ドーム2つ位の広さであり、会場での待合は大変厳しいものでした。

大会の内容は、地区大会と同様に各セレモニーが終始致しました。本来は、大会の内容を記すべきところですが、会場外における友愛の広場で海外の人達とコミュニケーションをとった事も大きな財産となりました。

さて、大会3日目ですが、6月20日(月)は、バスでエバンストンにあるRI本部を訪問してハリスの実物像と握手をしたり、本部の空気と事務室とを見学して、これからのRIの本部に期待をこめて参りました。それを後にして、次はポール・ハリスの墓地に御参り致しました。100周年のロータリーを設立し、かつ育てたハリスのお墓に手を合わせ、合掌又はお祈り致して、敬虔な気持ちになって、ロータリーの喜びを分かち合った次第です。

次に「カムリーバンク」を訪れまして、ハリスが生活した家庭の中を拝見致しましたが、先輩である竹山元RI理事が熱心に私達にこの建物の存続運動をされていることでもあるので、少しでも長くとの願いで、想いに耽っております。それにしても時間が経過しましたので、バスまで歩いておりましたところ、オット氏が立止まっておられましたので、この存続について竹山さんの話しをいたしましたところ、ロータリークラブがその資金を募って存続させることにしていると聞かされて、この大会に出席出来なかった竹山さんのお土産話になると喜んで帰国致しました。

お蔭様で、100周年記念委員会と致しましては、事業の計画を全部終了することができましたので、皆様方にご報告とさせて戴きます。大変有難う御座いました。



地区委員会委員長および活動計画

会員増強委員会

委員長

遠藤 秀雄
(登別RC)



1. 活動方針

会員増強は国際ロータリーの大きな目標であり、各クラブ純増1名を目指したい。
退会防止も呼びかけたい。

2. 活動計画

- ①RI会員組織コーディネーターを招いて地区会員増強委員会を8月に開催予定
- ②要請があれば会員増強について卓話に出向きたい。

拡大委員会

委員長

岩城 秀晴
(札幌南RC)



会員増強委員会と同様に大事な委員会であります。申し上げるまでもなく地区にとりましては新クラブを結成することは会員の増強にもつながって参りますので是非新クラブの結成を見たいのもであります。当地区には一番新しいクラブは札幌セントラルクラブです。このクラブは私のガバナーの時に誕生を見なかつたのですが、小林年度にRIへの加盟の認証を受けております。以後新クラブの誕生を見ておりませんが、本年こそ新クラブが誕生して欲しいと願っております。その為には調査を行なって立派なクラブが結成できることを希望いたしております。

1. 活動方針

地区内における新クラブの結成をする特別な任務を託されている。

2. 活動計画

- ①将来クラブを結成するのに有望な地域について。
まだクラブが結成されていない地域。
- ②調査
 - ①において未結成地域の整理。
 - ・2005年7月～9月：未結成地域の整理
 - ・2005年10月～12月：未結成地域における新クラブ結成の可能性
 - ・2006年1月～4月：新クラブ結成可能性へのアプローチ
 - ・2006年5月～6月：新クラブ結成とその手続き

オン・ツー・コペンハーゲン委員会

委員長

佐藤 秀雄
(千歳RC)



1. 活動方針

国際ロータリー第96回コペンハーゲン国際大会の開催の意義、目的を多くの会員に理解して頂き大会参加を促す。

2. 活動計画

- ①今回の国際大会はコペンハーゲンとマルメの2会場で実施されるため、委員会として、その詳細が解かり次第どのような形で参加するか検討し計画を立てたい。
- ②北海道ナイトを開催する方向で検討するが、参加人員によってはどうなるか検討したい。近年、国際ロータリー第2500地区と合同で開催しているが、今回も同地区に働きかけたい。
- ③大会の詳細が判明次第月信、IM等を利用し広報をしていく。

2005～2006年度 行事予定表

- 2005年9月：第1回委員会開催
- 2005年10月：月信で広報・参加者募集
- 2005年11月：第2回委員会開催
- 2005年12月：月信で広報・参加者募集
- 2006年1月：IM等を利用して大会の意義・目的の広報
参加者呼びかけ
- 2006年2月：同上
- 2006年3月：同上

文献資料室

委員長

板橋 俊
(札幌南RC)



当委員会は、ロータリーの情報源であります貴重な文献資料の整理、保管、収集が任務です。

今年度の主な活動としましては、文献資料の収集とそれに伴い貸し出しリストの製作を計画しております。

地区内各クラブには、強調月間のビデオのご利用が多いので、貸し出しビデオを増やし、より沢山のご利用をいただけるように務めて参りたいと思います。

1. 活動方針

文献資料等の整理・保管・収集が任務ですので、例年に倣い、しっかりと務めて参りたい。

2. 活動計画

- ①新しい資料の収集を行い、貸出文献を増やして、地区内各クラブの多くの会員に利用して戴く。
- ②書籍等はなかなか繙く時間がないので、ビジュアルなビデオ等の利用をして戴くべく努力する。
 - ・2005年7月：今年度の活動計画打合せ委員会
 - ・2005年9月：新しい資料の検討会（書籍、ビデオ等）
 - ・2005年10月：文献資料の整理

- ・2005年12月：中間打合せ委員会
- ・2006年4月：文献資料の整理
- ・2006年6月：今年度結果・検討会

クラブ奉仕委員会

委員長

羽部 大仁
(札幌南RC)



塚原ガバナー年度の地区クラブ奉仕委員会を仰せつかりました。札幌南ロータリークラブの羽部で御座います。佐藤秀雄PG年度から地区クラブ奉仕委員会のお手伝いをさせて頂いております。3年目になります。

初年度から初めて取り組んだ事業は、地区のホームページにクラブ奉仕委員会を紹介させて頂きました。早い時期に委員会を開催して各委員のご意見を聞きながら、ホームページの更新をしたいと考えています。(各クラブで興味深いプログラムや特筆すべき会員増強、楽しい親睦例会などを委員会へお知らせ下さい)

委員会最大の任務は、地区協議会でクラブ奉仕部門を担当することです。今年度の協議会は去る4月10日に札幌市で開催され、第3分科会を担当し、クラブ奉仕委員長が参加され、熱心にクラブ奉仕の重要性について話し合いが出来たと存じます。又今年から地区広報委員会をクラブ奉仕委員会に併合して活動することになりました。幸い富原カウンセラー(PG)は広報の専門家ですので御指導を戴き委員会として何が出来るかを検討して参りたいと存じます。

ロータリーを取り巻く環境はこの数年とても厳しいものがあります。会員増強どころか、クラブ会員の減少(退会による)に各クラブは深刻に悩んでいる状況にあります。この状況からの脱却は、クラブ奉仕の実践しか道がないように感じています。楽しいクラブ例会、興味のあるプログラム、暖かな人間関係(会員相互の理解)が必ずロータリーの真の輝きを取り戻すに違いないと思います。どうぞ地区ロータリアンの皆さんには、各クラブにおいて親睦を通じて思いやりのある奉仕活動をお続け戴きたいと思っております。本年度の国際ロータリーのテーマは「超我の奉仕」です。初心に帰って奉仕の心を探っていきたく考えています。クラブ例会における卓話の要請が御座いましたら、地区ガバナー事務所或いは下記にご連絡下さい。(ガバナー事務所 TEL (011) 207-2510:羽部 TEL (011) 811-7465) 一年間宜敷くお願い致します。

情報・IC委員会

委員長

坂井 治
(千歳セントラルRC)



情報・IC委員会からのお願い

「かつてロータリーの情報はガバナーやクラブ会長など特定の人にしか配布されませんでした。しかし、現在ではその気

になればインターネット上からほとんどの情報を取得することが出来るようになりました」これはある会合での塚原ガバナーのお言葉です。

しかし、インターネット上の情報はパソコンの前で待っていても入ってきません。

情報・IC委員会では氾濫する情報の中から必要な情報を会員の皆さんがいち早く取得できるようお手伝い致します。

その手段の一つとして

1. メールマガジンを配信し、RI、RJW(ロータリージャパンウェブ)、ロータリーの友などからインターネットを介して流通する情報および地区内の情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールを通じて配信します。
2. 地区ホームページを作成し、地区から発信する情報および地区内各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化とクラブ間の親睦の補助的役割を果たします。

そこで各クラブ会長さんにはお願いします。

1. インターネット接続のできる会員さんに出来る限りメールマガジン(ニュース2510)の購読(無料)をお勧めしてください。
購読方法は2510地区ホームページ<http://www.ri2510.gr.jp/>を開き右側に並んでいるボタンのメールマガジンというところをクリックしていただければ手続画面が現れますので画面の指示通りに必要事項を入力していただければ完了です。
2. クラブやグループでの活動をホームページに投稿または情報提供してください。
どうぞ有効にご利用ください。

米山記念奨学委員会

委員長

竹原 巖
(札幌北RC)



1. 活動方針

ロータリーの目的と奉仕の一つである、国際理解と親善に寄与する米山記念奨学事業を支援するため、奨学事業の目的と意義について理解を深めていただき、また多くの留学生に支援の手を差し伸べることが出来るようにします。そして、ロータリアンと奨学生の交流を通じて相互理解と親善を深めて行きたいと思っております。

2. 活動計画

活動方針を具体化するため、次の活動を行うことを計画しております。

- ①(卓話の実施)10月の米山月間やその他の機会を利用して、奨学生並びに地区委員がクラブを訪問し奨学事業に理解を深めていただけるよう卓話を実施いたします。
- ②(奨学生の各種行事への参加)奨学生に地区行事・クラブ行事あるいは地域行事等に積極的に参加していただき、ロータリアンあるいは地域の方々との交流を通じて相互理解を高めるための支援をしていきます。

- ③ (世話クラブ・カウンセラー・指導教官との交流) 奨学生が安心して留学生活を送れるように、世話クラブやカウンセラーあるいは指導教官と連携を図り奨学生の生活や研究をサポートしていきます。
- ④ (カウンセラー研修会の開催) 奨学生のお世話をさせていただきますカウンセラーに役割等の研修会を実施し、よりきめ細やかなサポートが出来るようにします。
- ⑤ (オリエンテーションの開催) 奨学生に米山記念奨学生としての心構えについて説明会を開催します。
- ⑥ (交流会の開催) 奨学生・学友・ロータリアンそして家族との交流会を開催します。
- ⑦ (地区他委員会との連携) 地区の他委員会と連携を図り、交流活動を推進して行きます。
- ⑧ (寄付の増進) 寄付金の中には普通寄付金と特別寄付金の2種類ありますが、それらについて全国平均並の増額を目指すようクラブの協力をお願いします。

米山学友委員会

委員長

米谷 龍三
(札幌東RC)



1. 活動方針

開設して4年度目を迎える米山学友委員会は、見延前委員長の米山学友会に対する理念を基本的に継承し、更なる発展を目指します。

学友会の主人公は、あくまで学友自身であるという原則に従い、支援の活動の具体案を作成し、実行に移します。活動目的の1つである、ロータリアンと学友との交流、友好、親善の輪をよりいっそう広めるため、関係委員会との密接な連携を深めていきたいと考えております。

2. 活動計画

- ①米山学友会の名簿について
 - (イ)米山学友会の名簿の補填
 - (ロ)米山学友会会員の連絡網の構築
- ②米山学友委員会役員と学友委員の合同会議の開催
- ③地区大会への積極的参加
- ④米山奨学委員会と学友委員会が一体となった事業を計画、実行
- ⑤定時総会や家族懇親会、そして奨学生歓送迎会の開催
(可能な限り奨学会常務理事、財団委員長、米山奨学委員長を招聘する)
- ⑥機関紙学友会だよりの発行

所感

今年度から奇しくも私は、札幌東クラブの米山記念奨学委員長を委嘱され、同時に、新しい奨学生のカウンセラーも任せられることとなりました。文化や風習の異なった国で、仕事をされている奨学生OBの方々にとっては、我々の想像以上に御苦労があると思いますが、ロータリアンとして多少なりとも、経済的支援のみならず精神的な面でも、支援をしていきたいと考えております。そして、その2つの支援によって、数年後あるいは数十年後、我々ロータリアンと、国際親善や交流によって得られた貴重な体験を、次の世代に語りつがれ、

感謝の気持ちを感じる奨学生が生まれる事が出来れば、それは同時にロータリアンとしての喜びでもあり、まさにロータリーの基本理念に合致するのではないのでしょうか。基本的には、多年に亘って再構築された、見延前委員長の功績を礎にして、活動を発展、継承していくつもりです。

職業奉仕委員会

委員長

礪波 寿
(札幌南RC)



地域社会に奉仕の実践を

2005-06年度、ロータリーの奉仕の第2世紀へのスタートが切られました。

RI会長のテーマ「超我の奉仕」、ロータリーの原点でありまじ職業奉仕を見直し、地域社会に「奉仕の実践」との指針があります。

私たち、職業奉仕委員会はその任務をしっかりと受け止め精神的に活動し地区内の各クラブに職業奉仕理念と、その実践のお呼びかけをいたします。

そして、地区内クラブから職業奉仕委員の卓話派遣の要請があった場合、出切る限りその要請に応えたいと考えています。更に、本年度は「特別プログラム」として、地区内各クラブの会員の中から職業を通じ地域社会に素晴らしい貢献をされた事例であるとか、経営危機を救う為に、この様な実践(四つのテスト)によって成功したとの体験(事例)を募集し、各クラブに紹介、又は記録する企画を予定しています。

社会奉仕委員会

委員長

小山 秀昭
(札幌手稲RC)



1. 活動方針

ロータリー100周年を機に初心とロータリーの基本原則に帰り、ガバナー方針『充実したクラブを作ろう』に沿ってそれぞれの地域の足元を見直し「クラブと会員自らが奉仕活動の行動をする」のに必要な情報を提供する。

2. 活動計画

- ①地区内をいくつかのグループに分けクラブ委員長を中心にクラブの社会奉仕活動の発表と意見交換を行う場をつくる。
- ②各クラブの活動計画書の内容を分析しジャンル別に仕分けする。
- ③昨年度まで行われていた家庭奉仕委員会、子ども奉仕委員会は担当されました各委員さんのご努力により今後の活動の基盤が出来ましたので、今年度は縮小し担当委員を置きます。小林パストガバナーをはじめ携われました委員各位に深く敬意を表します。

国際奉仕委員会

委員長

橋本 信夫
(札幌西RC)



国際奉仕委員会は地区における国際関連事業の窓口であって外国地区との親善交流プログラムや発展途上国を対象にした人道的支援プログラムを効果的に企画・調整できるよう努めている。特に国際奉仕関連事業のPRと各クラブによる外国関連事業計画支援のためにメーリングリストによる情報ネットワークを構築し、クラブや会員との緊密な情報交換を図る。

今年度は以下の2つの事業を継続実施する。

- 第1 現在社会奉仕委員会が精力的に行っているアジア諸国に向けた人道的支援プログラムを効果的にバックアップする。これまでに各クラブから寄せられたさまざまな案件について、WCS委員会と連携しながら相手地区の状況、要請内容や援助費用などを調査するとともに相手団体や仲介団体との連絡などにも努め、安全且つ確実にプログラムを遂行できるよう調整する。特に今年度は水資源問題に関連した援助プログラムを企画し、具体化を図る。
- 第2 昨年秋にRI3700地区と当地区との間で調印された姉妹提携プログラムが円滑に進展するよう調整する。このため今年度は従来の国際親睦活動委員会の事業内容を広げ、新たに国際友好委員会と改組して韓国など外国地区との親善交流を含む新しい国際友好親善活動を開始する。

このように国際奉仕委員会は、WCS委員会と新しく模様替えした国際友好委員会がそれぞれの目的に合わせて効果的に活動できるようコーディネートする。

外交的プログラムは元来大変複雑なため、相手地区やクラブについて十分事前調査をした上で慎重に対応する必要がある。また実施に当たっては莫大なエネルギーを要すると同時に思いがけないリスクを伴う場合もある。このため豊富な経験と情報が不可欠で、少なくとも数年を見越した明確な活動方針と計画が必要となる。

世界社会奉仕(WCS)委員会

委員長

斎藤 修 弥
(室蘭RC)



1. 活動方針

ロータリアンが世界社会奉仕活動に参加することは、楽しくやりがいがあり報われるものです。当委員会は昨年6つの事業を実施しましたが、まだまだ各クラブの世界社会奉仕活動への意欲と認識が高まっていないと思います。

したがって当委員会としては、今年度地区内の全クラブが世界社会奉仕の意義を認識し、積極的に事業に取り組む意欲を喚起するため、具体的な啓蒙活動を展開していきます。

2. 活動計画

- ①世界社会奉仕活動(WCS)についての理解と意欲を高め

るため、地区協議会、地区大会等の機会をとらえて各種セミナーや説明会を開催します。

- ②国際奉仕委員会、国際友好委員会との連携を一層強化して情報の収集を図ると共に、共同事業の取り組みを拡大します。
- ③世界社会奉仕活動は事業を行うことも重要ですが、その検証はより重要です。先の長い友好関係を保つためにも、本年度は昨年事業を実施した関係各国を訪問して、その実態を調査し報告します。

国際友好委員会

委員長

矢橋 温 郎
(札幌西RC)



1. 活動方針

昨年度、遠藤秀雄ガバナーの基で地区大会の時に締結されました韓国第3700地区との姉妹地区友好を深める事を目的とする。

2. 活動計画

- ①インターアクト、ローターアクト、青少年交換、GSE等の委員会と連絡し交流を進めるよう努力する。
- ②本年10月15、16日に行われる当地区の地区大会に招待する。
- ③来年4月に行われる第3700地区の地区大会を訪問する。
- ④ガバナー月信の交換をする。
- ⑤その他適宜交流する際の便宜をはかる。

新世代委員会

委員長

細川 好 弘
(静内RC)



過ぎし日、私たちは新世代でありました。

心温かく接すれば敵味方をつくらず違いを認め合う、日本人の美しい心が伝わる古来の文化を新世代に伝えて下さい。命のこと、感謝のこと、思いやりのこと等々あたりまえの事を、あたりまえに身につけることを忘れていたのでしょうか。昨今の考えられない青少年に関わる事件の多発で、親や社会の責任を問う声があがっていますが、このことは範を示さなければならぬ人が、その役目を果たしていないところにも原因があるとも分析されています。

「ロータリーは青少年の模範」というロータリー標語に加えて、青少年と接する際の行動規範に関する国際ロータリーの声明として、ロータリー活動に参加するすべての人々のためにも最も安全な環境作りに配慮されるよう、ロータリアンその家族やその他のボランティアの人々に周知徹底を図るよう奨励されておりますが、将来指導者を志向する新世代にロータリーの熱意として伝えて行きたいものです。

過ぎし日、ロータリアンは新世代でありました。

地域社会での指導者であるロータリアンは未来を担う若い人

達の模範であります。青少年の指導力を伸ばし、人としての責任感を培う為のプログラムに参画して下さい。
青少年交換、インターアクト、ローターアクト、関連委員会のプロジェクト推進に、ロータリアンの知恵と汗を賜りたいと願っております。

インターアクト委員会

委員長

堀田 昌資
(札幌東RC)



ロータリアンの超我的奉仕がインターアクターの心に響くよう。

ロータリーが新世代プログラムに取り組む機会を得て、世界平和と人類に希望をもたらす活動を通して多くの若い人達との交流を深める事業を実施致します。各事業の実施にあたっては、スポンサーロータリークラブとの連携を計りながら顧問教師の積極的な指導と学校側の理解と協力をいただく事で尊い成果が期待されます。新世代プログラムへのロータリアンの超我的奉仕がインターアクターの心に響くよう、新世代関連委員会と共に更なるご理解とご協力のほどお願い致します。

ローターアクト委員会

委員長

柳 孝一
(札幌南RC)



1. 活動方針

提唱ロータリークラブの会長・幹事、ローターアクト委員会、クラブ会員の方と連帯を保ち、地区内ローターアクトクラブの活発な奉仕活動と、会員増強推進を目標に、提唱クラブだけではなく、広く地区内ロータリークラブにローターアクトクラブの活動を理解していただき、新しい事業を展開することを目標にいたします。そのためには、地区内ロータリアンを含む地域社会に広くローターアクトクラブを知って頂く、広報活動に努めます。

2. 活動計画

【地区行事への参加と協力】

- ①ローターアクト地区大会実施の協力と参加
- ②ローターアクト地区協議会実施の協力と参加
- ③新世代委員会行事への参加
- ④海外研修実施の協力と参加
- ⑤2510地区大会への参加とローターアクト会員の参加推進

【クラブ運営に関する要望と協力】

- ①クラブの会員増強と体制強化、例会運営
- ②提唱クラブ ローターアクト委員会の指導力強化
- ③ロータリークラブとローターアクトクラブの合同例会、合同事業の実施
- ④ローターアクト週間（3月13日を含む週）のPR

（最初に誕生したローターアクトクラブがRIに正式に加盟認証された日でローターアクトクラブと提唱クラブが合同で事業を行うものです）

【その他】

- ①第4回北海道ローターアクト交流会のホストクラブへの全面協力とロータリアンの登録推進（2510地区で開催、ホスト千歳RAC）
- ②全国研修会への登録、参加
- ③休止中のクラブへの再開の働きかけ
- ④未提唱クラブへ新クラブ設立の働きかけと共同提唱の提案
- ⑤提唱クラブ委員長会議を年2回程度開催（例年1回）
- ⑥地区主催のアクトキャンプへの協力と参加
- ⑦地区ローターアクト代表への指導と協力
- ⑧各クラブの活動計画書と活動報告書の作成要請

青少年交換委員会

委員長

野澤 幸平
(岩内RC)



本年度の活動に向けて

本年度も長期派遣、受入は8名前後を予定しております。内訳はオーストラリア4名、アメリカ2名、カナダ1名、フィンランド1名を予定。

派遣候補生については出発前1年間の姿勢、何よりも受身ではない態度がより充実した留学体験出来ることを確認しながらスピーチ、パフォーマンスそしてコミュニケーションを取れることそして日本文化等について派遣国、地区、家族に話題提供出来る様オリエンテーション内容の充実を図りたいと思っております。

受入学生が日本語に習熟することは日本で生活をする上で重要なことです。当地区のボランティア日本語講師により「日本語教育プログラム」の大切さ、充実さは第3の「カウンセラー」。

受入学生達全員が帰国報告会にて日本語講師の方々へ「色々な事が相談出来た」と感謝の言葉が述べられております。講師の皆様方に感謝しながら今後も大切な継続事業として。

次年度に向け事務処理の効率化、手引書一式を関係RC用、派遣生用そして関係高校へお渡ししこの交換プログラムの内容について理解を頂ける様にしたいと思っております。

派遣生、受入生が元気により内容のある留学生活が出来る様委員共々応援団として頑張る所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

ロータリー財団委員会

委員長

遠藤正之
(札幌南RC)



『ロータリー財団およびそのプログラムに対する理解とその活動に協力すること』-毎年あなたも100ドルを-

2005-06年度はロータリー2世紀始まりの年ですが、ここ数年来諸々の悪条件のもとに会員数の減少がみられ、又それに基因してか財団に対する理解も若干希薄になって来ているようです。

我々ロータリアンとして一番身近かなロータリーに対する奉仕活動は、財団に対しての協力です。塚原ガバナーの第1目標に「毎年あなたも100ドルを」と財団に対する協力を呼びかけておられます。

財団委員会は今年も各小委員会と連絡をとり乍ら、会員に財団の仕組みとその寄付金の流れを理解して戴き、財団に対する諸寄付に一層の協力をお願いするつもりです。

3年間継続したポリオに対する募金も昨年度で終了しました。これに対する実績はまだ確定しておりませんが、当地区は散々たるものであったようですので、この募金の趣旨からしても皆様の理解が得られなかったことを反省しております。

本年度は、年度当初から各クラブの会長・幹事、財団関係の方の強い協力をお願いしたいと考えており、100%「財団の友」会員のクラブの認証を得るようにして戴きたいと思っております。

財団委員会としてお願い

1. 財団諸活動への協力
2. 財団プログラムを支えている諸寄付の協力
 - ・年次寄付「毎年あなたも100ドルを」
 - ・恒久基金、使途指定、大口寄付等への協力
 - ・ロータリーカードへの協力
3. 2005-06年度の年次寄付の地区目標は30万ドルです

国際親善奨学金委員会

委員長

瀧川哲夫
(札幌手稲RC)



今年度の委員会活動予定は以下の通りとなっています。3回のオリエンテーションを通じて、奨学生候補者が積極的にロータリー活動に参加するよう指導しますが、スポンサークラブのご協力は欠かせません。ご支援をお願いいたします。また、07-08年度奨学生応募者推薦時には、必ずクラブ役員による面接をおこなっていただくようお願いいたします。なお、国際平和奨学金の募集については未定です。

日程 2005年7月 06-07年度奨学生 第1回オリエンテーション・第1回委員会
9月 06-07年度奨学生 英文申請書完成、財団へ送付

- 10月 06-07年度奨学生 第2回オリエンテーション
第2回委員会(07-08年度奨学生募集要項決定)
- 12月 07-08年度奨学生募集要項・ポスター印刷完成・送付
第3回委員会
- 2006年1月 07-08年度奨学生 募集開始
- 2月 06-07年度奨学生 第3回オリエンテーション(1泊の宿舎予定)
第3回委員会
- 4月 07-08年度応募者 各クラブへの申請書提出締め切り
07-08年度応募者 各クラブから奨学金委員会への提出締め切り
- 5月 07-08年度応募者 書類審査
- 6月 07-08年度応募者 面接選考、合格発表
06-07年度奨学生 壮行会
第4回委員会

GSE(研究グループ交換)委員会

委員長

岡崎芳明
(小樽南RC)



本年度GSE委員会の最も大きな事業と言えば昨年度受け入れましたタイ・バンコク3350地区への5名のGSEチームの派遣です。その節は地区内の受け入れ世話クラブの皆様はじめ関係グループの皆様には、大変お世話になり誠にありがとうございました。地区内ロータリアン皆様の温かい御協力に心より御礼を申し上げます。

では今年度の事業計画を項目分けにして説明いたします。

1. 2006年2月後半から3月後半(28日間)にかけて、タイ・バンコク3350地区へ2510地区より5名のGSEチームを派遣期間は2006年2月25日から3月25日の28日間を予定。(本州内空港乗り継ぎの都合、冬期間に付き千歳24日発便で前泊を検討中)
2. 2510地区GSE派遣メンバーが3350地区へ派遣までの間、毎月派遣チームリーダーを中心とし、地区GSE委員全員が協力して、派遣研修計画を実施
今年の1月にチームリーダー以外4名のGSE派遣メンバーが、厳格なる審査の結果正式に決定致しまして、今年度2月より月1度の研修を既に行っております。チームリーダーは基よりGSE委員も全員協力体制を取り、適宜各分野の講師の皆様のお力をお借りしながら12時から6時まで行う。
3. 次回GSEプログラム(2006年度以降)の相手地区に対しての国際渉外活動の実施
引き続きアジア地区とのGSE交換プログラムを念頭に置き国際渉外活動中です。
決定次第ガバナー月信、GSEホームページ等でお知らせ致します。
4. 次回のGSEプログラム(2006年度以降)に対して、派遣

受け入れの全体計画を進める
次回からGSEプログラムは単年度内に受け入れと派遣を行わなければならない為
06～07年度はGSE交換プログラムを休み準備年度とし、
07～08年度に受け入れと派遣を行う為の計画を立てていく。

5. GSEホームページの充実

既に昨年度のタイ3350地区からの受け入れをアップ致しましたが、今後長く引き継いでいける形のホームページの構築を目指し、不備な点の充実を図っていく
3350地区への派遣の際は、現地での情報を出来る限り早くアップしていく予定
GSEホームページアドレス

<http://www.ri2510.gr.jp/GSE/framepage.html>

- #### 6. GSE事業活動報告書制作（3350地区派遣報告）及び、その他上記に関わる付帯活動
- 派遣が終わり次第、3350地区派遣の様態を掲載した活動報告書を作成する。

財団学友委員会

委員長
松下文芳
(江別西RC)



当委員会の役割は、学友会とロータリークラブ間の連携の輪を強力なものとし広げていくことにあります。地区より選考された奨学生と親善大使としての語学研修生達が帰国後、学友会に入会、深くロータリーを理解して活動する事が他の多くの人達に理解してもらえると信じます。昨年より学友会への賛助金の協力を各クラブをお願いしています。若い青年達がロータリーのマークを掲げ活躍している姿は、頼もしくロータリーの将来に輝かしくも感じ取れます。私達ロータリアンは「友愛と奉仕」のもと超我の奉仕を実践しましょう。

以上により、下記4項目を活動方針とします。

1. 財団学友会の財団学校への理解促進。
2. 財団学友会のロータリー活動への参加促進とクラブの財団学友会への理解促進。
3. 財団学友会の広報。啓発活動の推進。
4. 他地区の財団学友会との連携。

よろしくご協力の程、お願いします。

補助金委員会

委員長
朝倉正人
(札幌東RC)



1. 活動方針

補助金委員会はロータリークラブが人道的補助金を申請した場合、活動内容等の審査をし委員会を開催する。
そしてガバナー及び財団委員長出席のもとで決定し、最終報告を提出するに至るまで指導及び援助するのが主な役割です。
各クラブにおいて人道的プログラムを積極的に遂行し、地域に密着した社会奉仕に利用して戴き、社会奉仕委員会、世界社会奉仕委員会と連動することもよろしいと思います。
審査には諸条件を満たすことが大事になりますので宜しくお願い致します。

2. 活動計画

補助金を各クラブで有効に利用して戴きたい。
地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラントの活動に援助することが役割でございます。
各クラブでは職業奉仕、社会奉仕活動をしています、その中でクラブ独自の奉仕活動、地域活動に対して、又会員自ら汗を流す活動に補助金を支出するものであります。
補助金の審査は、3年前のロータリー財団の寄付の状況、クラブの自主申告の実績表を参考にし、又活動内容を厳正に審査し判断して参ります。
予算の関係で十分な補助金は支出できないこともあり、そして内容、予算についてご遠慮して戴く場合、又減額のお願が多々あると思われまますので、ご理解の程宜しくお願い致します。
・2005年8月、11月、2006年2月、6月：委員会開催予定

補助金監督委員会

委員長
菅原耕治
(札幌北RC)



当委員会は、2年前に新設された新しい委員会です。
活動内容は、地区のロータリー財団・地区補助金委員会へ申請された各クラブからのプログラムを運用されているかの監査を行うことです。
3年目となります今年度は、委員も2名から4名と増員して、他の地区委員会との合同会議を通じて、地区補助金（DSG）が各クラブのプログラムの活性化と実施・運営に有用に利用されるよう努力をしたいと思っております。

新ロータリークラブ結成のお知らせ

前期遠藤秀雄ガバナー並びに遠藤正之拡大委員長のご尽力で、函館地域に新クラブ結成のための拡大調査書、新クラブ提唱書をRIに送付し容認され、これらを引き継ぎ、今年度7月2日RI加盟申請書に塚原ガバナーの署名のもと、正式にRIに加盟申請をしました。

新ロータリークラブは認証まで「函館セントラル(仮)ロータリークラブ」として、例会は毎週火曜日12時30分より「函館国際ホテル」で開催されております。ご存知の通り、RC定款第8条第1節(2)に示されており、仮クラブ出席はメイクアップとなりますので、出席され新クラブとの親睦交流を図ってくださるようご案内とお願いを申し上げます。

国際ロータリー第2510地区

ガバナー	塚原房樹
直前ガバナー	遠藤秀雄
拡大委員長(PG)	岩城秀晴
直前拡大委員長(PG)	遠藤正之

新クラブ 函館セントラル(仮)ロータリークラブについて

ロータリーの拡大はガバナーに課せられた重大な任務であることはご存知の通りです。当地区2004-2005年度遠藤秀雄ガバナーは新クラブを結成する有望な地域として、一市三町一村、函館市、南茅部町、戸井町、恵山町、榎法華村が合併し中核都市を申請中の新函館地域を、地区拡大委員長遠藤正之PGに新クラブ結成調査するにあたり、特別代表として亀井敏清(函館RC)を任命し新クラブ結成の第一歩としました。

5月9日(月)には、遠藤秀雄ガバナー、拡大委員長共々来函され、特別代表他数名の新クラブ結成のための核なる会員候補者と面談し、「新クラブ結成調査書」を作成しご署名をいただきました。次に「新クラブ提唱書式」これは新クラブのスポンサークラブ受諾の要請書であります。5月12日(木)にこの要請を受けた函館RCがスポンサーとなることを受諾し「結成調査書」「提唱書」の二部をRI事務局に提出し、5月16日(月)にこれらの書式は正式に容認された旨通知があり、正式にクラブ結成のための活動に入りました。

以下次のようなスケジュールで進めて参りました。

1. 第1回目 6月1日(水) 14時~15時
2. 第2回目 6月14日(火) 12時30分~13時30分
この時点で仮クラブ宣言されました。
3. 第3回目 6月21日(火) 12時30分~13時30分
4. 第4回目 6月28日(火) 12時30分~13時30分

(会場は全て函館国際ホテル)

そして、第5回目として7月2日(土)12時30分~13時30分函館国際ホテルにて当地区2005-2006年度塚原房樹ガバナーを迎えての新クラブ創立例会となりました。当日は年度が変わり公式訪問でご多忙の塚原房樹ガバナーが、わざわざご来函され、「加盟申請書一式」を確認され、函館セントラル(仮)ロータリークラブの会長、幹事、特別代表と共に自ら署名をいただきました。チャーターメンバー28名は全員感激で一杯でありました。今後、認証されるのを一日千秋の思いで待っている次第です。その後、認証状伝達式(チャーターナイト)を開催し、世界のロータリーの仲間入りとなります。メンバーはロータリアンとして切磋琢磨しながら社会貢献と、親睦を図ることに邁進いたします。今後ロータリーの仲間として末永いご厚誼を宜しく願います。

尚、新クラブの名称他は下記の通りです。

名 称：函館セントラルロータリークラブ
例 会 日：毎週火曜日 12時30分
例 会 場：函館国際ホテル ビジターフィ：2,000円
仮事務所：野崎幹事勤務先 プライダルハウスパライム
〒040-0065 函館市豊川町22-13
TEL 0138-23-5667
FAX 0138-23-5668

函館セントラル(仮)
ロータリークラブ
特別代表

亀井敏清
(函館RC)



ロータリーの友 委員会報告

ロータリーの友地区委員
黒澤昌彦(札幌東RC)

7月9日(土)東京プリンスホテルにおいて13:30より、地区委員・常任委員合同会議、15:30よりはガバナー及びロータリーの「友」委員会合同会議が開催されました。

渡邊隆委員長(習志野RC)は冒頭の挨拶で「ロータリーの友」の在り方、使命等についての話をされ、ロータリーに関するテキストとしての意義を強調されておりました。

また、各常任委員・顧問等役員からも「友」誌についての説明がありました。「友」誌7月号についての感想では、当地区の札幌北・当別・札幌モーニング・札幌はまなす四クラブ合同による「ロータリー100周年記念講演」の記事が地区委員の間から高い評価を受けていたことをご報告致します。

各クラブの会長・幹事・雑誌委員長・情報委員長はじめ会員の皆様には、ロータリー学習のテキストとして「ロータリーの友」誌の有効利用と読書率向上をお願い申し上げます。

地区ローターアクト 委員会報告

地区ローターアクト委員
八木政明(札幌北RC)

2005-2006年度当地区ローターアクト委員会及び提唱ロータリークラブ委員長会議が平成17年7月9日(土)、午後1時、札幌市内の「かでる2・7」にて開催されたので、その概要を報告致します。

初めに柳孝一地区委員長から開会挨拶があり、5名の地区委員、矢橋潤一郎地区幹事(新世代担当)そして8名の提唱クラブ委員長の自己紹介のあとに委員会報告と地区行事の案内がおこなわれた。

その後、各ローターアクトクラブの現状や活動について報告と質疑応答があり、特に会員増強と会員の主体的活動に関わる事項について活発な意見が交わされ、たいへん有意義であった。

次いで開かれたローターアクト会長・幹事会には全委員が参加し、地区ローターアクト代表、幹事、役員の自主的、明快な会進行運営と年度行事の協議状況を観覧した。午後6時から懇親会場へ移動し、各委員並びにローターアクト会員との交流と意見交換が行なわれ、相互の親睦を深めることができた。



～出会い・友情・奉仕～

2005年10月15・16日
国際ロータリー第2510地区

地区大会

ホストクラス 札幌東ロータリークラス

●札幌コンベンションセンター●

第1日目

10月15日(土)

登録開始
会長・幹事会
本会議 第1日目
フォーラム・
パネルディスカッション
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
(札幌ロイヤルホテル)

第2日目

10月16日(日)

登録開始
本会議 第2日目
《記念講演 養老孟司》
懇親会
(札幌パークホテル)

10月14日(金)

記念ゴルフ大会/札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース

10月10日(祝)

記念囲碁大会/日本棋院北海道本部囲碁会館
(アステイ45)

記念講演

《バカの壁》

養老孟司氏



プロフィール

昭和12年 神奈川県鎌倉市に生まれる
昭和27年 東京大学理学部卒業
一歩のインテリを履いて、解剖学
教室に入る
以後解剖学を専攻
昭和42年 医学博士号取得
昭和56年 東京大学医学部教授に就任
出版会理事長を兼任、東京大学
出版会理事長を兼任
平成7年 東京大学を退官
平成8年 北里大学教授に就任
《大卒医学生と人間科学》
平成10年 東京大学名誉教授
北里大学を退官
平成元年 『からの見方』(筑摩書房)で
サントリ・学芸賞を受賞
平成15年 『バカの壁』(新潮社)で
毎日出版文化賞を受賞

2005～2006年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会 事務局

〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西1丁目4 大通藤井ビル3F
TEL・FAX(011)207-2512
e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

新入会員のご紹介



尾形 卓也

小樽南RC
平成17年7月1日入会



吉岡 竜也

札幌東RC
平成17年7月7日入会



高橋 広文

江別RC
平成17年7月7日入会



高橋 博

千歳RC
平成17年7月7日入会



藤 芳 一 郎

千歳RC
平成17年7月7日入会



大沼 千枝子

千歳RC
平成17年7月14日入会



三井 周一

千歳RC
平成17年7月14日入会



西谷 恭治

留萌RC
平成17年7月6日入会



角 隆 巨

留萌RC
平成17年7月13日入会

文庫通信 214号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリー創立100周年に寄せて」

- ◎「巡礼－ロータリー百年」 佐藤千壽 D.2670・D.2620
2005 63p
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「ロータリーの新しい流れ－基本に戻ろう」 板橋敏雄
2005 9p (D.2710地区大会基調講演)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリー100周年に寄せて」 天野 肇
2005 11p (D.2690地区大会基調講演)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリー100年の歴史に学ぶ」 佐藤千壽 (コーディネーター)
2005 17p (D.2580地区大会シンポジウム)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「100年後の青少年に向けて－新世代について考える」 古木圭介 (コーディネーター)
2005 7p (D.2730地区大会シンポジウム)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「『温故創新』ロータリーの心を尋ねて」 松岡通夫
2005 5p (D.2680月信)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「RI 100年の意義」 黒田正宏
2005 4p (D.2830 IM記念講演)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「101年目からのロータリーを考える」 中島治一郎 (コーディネーター)
2004 19p (D.2640地区大会パネルディスカッション)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリーの森を歩く」 佐古亮尊 大村北RC.
2005 345p
[申込先：長崎新聞社出版部 TEL (095)844-5469]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3
abc会館7F
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時
休館＝土・日・祝祭日

1. クラブの出席報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ提出するようにお願い致します。
(FAX、メールもしくは電話可)

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告をお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に
写真1~2枚をご同封願えればと考えています。

原稿締切り日は毎月10日です。(メールでも可)

国際ロータリー為替レート
2005年8月
米貨1ドル=112円

地区委員会委員変更について

- ・地区GSE委員会委員に選任されました土橋信男会員(札幌南RC)は、6月30日付でクラブを退会されました。
- ・地区米山学友委員会委員に針谷龍宜会員(札幌手稲RC)が選任されました。

クラブ幹事の変更について

江 差RC: 横内隆文幹事(2005-06幹事)が6月28日に退会したため、幹事が変更になりました。

幹 事: 前川敏雄

〒043-0033 松山郡江差町字豊川町168番地の1 (株)前川組

TEL01395-2-0167 FAX01395-4-2081 (江差RCのクラブ事務所も兼ねます)

例会曜日・例会時間変更について

江 別 西 RC: 8月6日(土)友愛夏祭り(8月2日(火)例会の振替例会)

場所…静苑ホーム前 10:00~

8月9日(火)江別ロータリークラブと合同例会

場所…マキシドルパ 18:30~

8月16日(火)定款第5条第1節により休会

岩見沢東RC: 8月16日(火)定款第5条第1節により休会

8月23日(火)岩見沢RCとの合同納涼夜間例会

場所…岩見沢平安閣 18:00~

白 老 RC: 8月2日(火)を8月5日(金)18:00~に変更 夜間移動例会「仙山西ロータリークラブ訪問」

場所…仙台東急ホテル(宮城県仙台市)

8月16日(火)定款第5条第1節により休会

苫 小 牧 RC: 8月12日(金)定款第5条第1節により休会

8月19日(金)夜間移動例会「会員・家族の納涼の夕べ」

場所…和牛レストランログハウス ひび 18:00~

小 樽 RC: 8月16日(火)定款第5条第1節により休会

8月23日(火)納涼例会

場所…ニュー三幸 17:45~

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強および拡大月間	
1(月)	～5(金) インターアクト海外研修(韓国)
2(火)	公式訪問(小樽RC、蘭越RC)
3(水)	公式訪問(倶知安RC、余市RC)
4(木)	公式訪問(岩内RC、小樽銭函RC)
5(金)	公式訪問(札幌大通公園RC)
6(土)	
7(日)	
8(月)	
9(火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
10(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC)
11(木)	公式訪問(室蘭RC)
12(金)	公式訪問(洞爺湖RC)
13(土)	
14(日)	
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	公式訪問(三石RC、様似RC、浦河RC、 静内RC、えりもRC)
24(水)	
25(木)	公式訪問(由仁RC)
26(金)	公式訪問(札幌あけぼのRC)
27(土)	
28(日)	地区会員増強研修セミナー(札幌市) 第12グループIM
29(月)	
30(火)	米山記念奨学会、理事会・評議員会
31(水)	公式訪問(新札幌RC)

9月 新世代のための月間	
1(木)	公式訪問(苫小牧東RC)
2(金)	地区親睦野球大会 公式訪問(苫小牧RC)
3(土)	地区親睦野球大会
4(日)	
5(月)	公式訪問(長万部RC、函館亀田RC)
6(火)	公式訪問(函館東RC、七飯RC)
7(水)	公式訪問(森RC、函館北RC)
8(木)	
9(金)	
10(土)	
11(日)	ガバナー・エレクト研修セミナー(東京)
12(月)	公式訪問(北広島RC)
13(火)	公式訪問(白老RC)
14(水)	
15(木)	公式訪問(上磯RC、函館RC)
16(金)	公式訪問(函館五稜郭RC、江差RC、 松前RC)
17(土)	
18(日)	小樽銭函RC創立30周年記念式典
19(月)	敬老の日 札幌西RC創立45周年記念式典
20(火)	公式訪問(千歳セントラルRC)
21(水)	公式訪問(恵庭RC)
22(木)	
23(金)	秋分の日
24(土)	ローターアクト・アジア第1ゾーン会議(札幌市)
25(日)	
26(月)	公式訪問(長沼RC)
27(火)	公式訪問(当別RC)
28(水)	公式訪問(札幌モーニングRC)
29(木)	公式訪問(千歳RC)
30(金)	公式訪問(札幌幌南RC)

SERVICE Above Self

